

町民の声への回答

質問事項	回答	所管課
ラジオ受信環境の改善について	NHKラジオの受信状況が良くない時は、NHK鳥取放送局(☎0857-29-9200)にご相談ください。 NHKの職員が各ご家庭を訪問し、高性能ラジオの紹介、室内アンテナ、屋外アンテナの設置など受信環境改善の相談に乗っていただけるようです。 個人での問い合わせが難しい場合は、役場企画課(☎76-0212)が担当課になりますので、そちらへご相談ください。	防災室
各種スポーツの強化選手育成について	スポーツ少年団育成費交付金の対象は、八頭町に登録してあるスポーツ少年団です。毎春、代表者宛に案内を行っており交付申請をしていただいております。現在12団体が登録されており、一律の額を交付しています。 スポーツ少年団設立の際には、育成費についてご案内しています。 なお育成費は、各スポーツ少年団で活動費にあてられています。	社会教育課
統合後の空き校舎の利活用について	議事録内容等につきましては、ホームページ等でも公開しておりませんので、行政文書開示請求書により申請をお願いいたします。	地方創生室
農業の担い手について	別紙①のとおり	産業観光課
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員とJAが直接関わる取組はありませんが、生産者、JA等が事業実施主体となって取組を行う産地パワーアップ事業(水田、野菜、果樹等産地が、地域の強みを活かし、農産物の高品質、低コスト化、産地の維持、拡大等を推進し、農業競争力強化を図る取組)の計画審議等を再生協議会会員として行っております。 また、担い手の意見を聞く会にも、JA、他の関係機関と共に参加し、担い手の意向を確認し、農地集積等の支援を行っております。このような取組が、農業者の所得拡大、農業生産の拡大、地域の活性化にも繋がっていくと考えております。 ・休耕田に対しましては、農業委員会は土地所有者の方へ利用意向調査を行い、貸出希望、もしくは非農地化等の意向聞き取りを行います。貸出希望がある場合はJAと協力し耕作者を探すよう努めています。 	農業委員会事務局
まちづくり委員会の立ち上げについて	<p>本年6月に策定した「八頭町地域福祉推進計画」では、「みんなが支えあい誰もが自分らしくいきいきと幸せに暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とし、年齢や障がいの有無、性別などの違いを超えてすべての人が認め合い居場所と役割を持つことができる地域共生社会を実現しようとするものです。</p> <p>したがって、地域住民すべての方を対象とし、八頭町の公・民の福祉関係者や住民が互いに協力しあい、支えあって取り組むこととしています。</p>	福祉課

シニア大学について	<p>・社会教育活動の拠点である公民館が主体となり、人づくり、仲間づくりを進め、健康で生きがいに満ちた生活の創造を目指して、平成9年度に八東シニア大学の前身である「八東高齢者大学」が立ち上がりました。</p> <p>60歳以上の高齢者を対象としており、学生から選出された運営委員が検討・計画した幅広い分野の学習を行っています。</p> <p>平成24年度に現在の「八東シニア大学」に改名し、20年以上の長きに渡り学生の皆様が互いに切磋琢磨しながら学習を継続されています。</p>	中央公民館
<p>【さんさんバスについて①】</p> <p>2年前の小学校・中学校統合がありました。さんさんバス運行計画に対する検討(検討プロジェクト)を何時から始めましたか、「そして検討時の内容議事録の有無」結果、課題があったのか？その課題解決に向けてどう取り組んだ結果が、今の各運行ルートとなっている。前述プロセスの説明を求めます。</p>	<p>小・中学校統合にあたっては、さんさんバス運行協議会では協議していません。</p> <p>教育委員会の要請により、一部の路線でスクールバスとして、さんさんバスを利用いただいています。</p>	企画課
<p>【さんさんバスについて②】</p> <p>さんさんバスに対する「取組みコンセプト」は今後すぐ発生する超高齢化社会(移動難民・買い物難民)に対しての救済事業(行政サービス)としてスタートしたと理解していますが、現在のさんさんバスに対する認識はどう認識すればよいか教えてください。</p>	<p>さんさんバス運行開始の経緯としましては、民間バス事業者で運行されておりました私都線・大江線が平成21年3月で撤退されるのに伴い、路線を引き継ぐ形で、平成22年4月よりさんさんバスの運行を開始いたしました。</p> <p>ハイエースで運行している路線につきましては、合併後、学校通学時のスクールバス利用について、旧町間で差がありましたので、さんさんバス運行開始に合わせて、各小学校への通学時間を基本に、3路線(見槻線・日下部横田線・細見線)の運行を開始しました。</p> <p>その後、利用者・住民の皆様のご要望等により、路線の改廃を行いながら、現在の運行路線となっております。</p> <p>高齢化社会を迎え、住民の移動手段を確保することは重要な課題であるとは考えますが、定時定路線での運行ではカバーできない部分もありますので、タクシー助成の利用と併せ、交通手段の確保を行っていきたくと考えます。</p>	企画課
<p>【さんさんバスについて③】</p> <p>保育所統合に向けた通園手段として「さんさんバス」を利用としての一つの(案)ならば「検討委員会」を何時立ち上げましたか？</p>	<p>保育所の適正配置により通所距離が遠くなるご家庭を支援する必要があると考え、保護者や住民の皆様を対象に説明会を開催し現在に至っております。</p>	町民課

町民の声への回答（農業の担い手について）

○問題解決への取り組みについて

・平成28年6月 人・農地問題解決に向けた話合推進チームを発足

メンバーは、八頭町産業観光課、八頭町農業委員会事務局、東部農林事務所八頭事務所農林業振興課、東部農林事務所八頭農業改良普及所、東部農林事務所地域整備課、(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構、JAいなば町内各支店、JAいなば営農指導センター、一般財団法人八頭町農業公社

・チーム結成当時は八頭町全域を対象としてチーム会議を開催していたが、旧町（郡家、船岡、八東）それぞれでの課題が違うことから平成29年12月から郡家、船岡、八東それぞれでチーム会議を開催している。八頭町内の農業者の情報を収集し、2ha以上の耕作をしておられる農家を対象に農地利用調整会議を開催し、集落の状況、経営状況、課題、規模拡大意向等の聞き取りを行い、現状を整理し、取組内容を決定している。

・各地域の現状

郡家 大規模法人により集積が進んでおり、一定の農地利用の形ができつつある。

船岡 農事組合法人船岡農場が地域全体を営農区域として活動を行っている。

八東 個人大規模農家はあるものの法人が少なく、個人農家による農地利用がメイン。

・これまでの各地域の取組内容

郡家地域

井古：担い手の中間管理事業による農地集積による地域集積協力金の活用支援

池田：集落営農検討（代表者との話合い）

篠波：耕作条件改善事業（頭首工）の実施

姫路：担い手による農地利用調整

山上：農地を維持するための基盤整備事業の実施に向けた取り組み

大門：集落営農検討相談、柿圃場の基盤整備検討

大規模農家の農地集約

船岡地域

新規就農者と農事組合法人八頭船岡農場の農地利用調整

大江、志子部：農地を維持するための基盤整備事業の実施に向けた取り組み

八東地域

安井宿：耕作条件改善事業（農業用水路）の実施

小別府：任意組織設立を見据えた支援

上徳丸：集落営農組織の検討（田植、コンバイン、トラクター組合の意向確認）

上南、中南、下南、島：担い手が集中している地域。今後の農地利用に役立てるための農地所有者向けアンケート調査実施 ⇒ 担い手へ農地利用意向確認 ⇒ 農事組合法人日田が上南農地の一部を集積

日田：作業の効率化を図るための田の中畔撤去の検討

八東地域全域：農地所有者に対するアンケート調査。

○町内の農用地区域面積及び集落営農実施団体数、耕作面積

八頭町農用地区域面積 1, 880 ha

集落営農数	17	耕作面積	543 ha	作業受託面積	132 ha
(内 農事組合法人)	4	耕作面積	326 ha	作業受託面積	4 ha

八頭町農業経営基盤強化促進に関する基本構想において、集落内の営農を一括管理、運営する集落営農を35年には15経営体（現在4経営体）にするのが目標であるが、なかなか新規組織設立に至らない状況。